



宇都宮ロータリークラブ会報

- 宇都宮ロータリークラブ 会長 町田卓大・幹事 大矢裕啓
テーマ「ロータリーの『縁』(えにし) ～ロータリーを成長させよう～」
- 国際ロータリー会長 マーク・ダニエル・マロニー
テーマ「ロータリーは世界をつなぐ」
- 国際ロータリー第2550地区 2019～2020年度ガバナー 川嶋幸雄
テーマ「ロータリーは世界をつなぐ」

例会日/火曜日 12:30 会場/宇都宮東武ホテルグランデ 宇都宮市本町 5-12
事務所/宇都宮市江野町 1-12 栃木実業ビル2F TEL 028-666-0555
E-mail u-rc01@silver.plala.or.jp FAX 028-666-0333

(2019年) 令和元年 10月8日 2019～2020年度 No 13 (第3307回会報)

会員数 106名 出席者数 68名 出席率 73.1% 前回修正率 79.8%

MU会員 阿部欣文会員 (RLI)

ビジター紹介 (親睦活動委員会 矢治和之副幹事)

北出幸一様 (ゲストスピーカー)

川嶋健市様 奈良部好司様 松本幸三様 (壬生ロータリークラブ)

矢作千鶴子様 (東京 世田谷ロータリークラブ)

会長挨拶 (町田卓大会長)

今年度 101名でスタートした会員数ですが、今日現在 106名です。近日中に、109名になる予定です。最初に私がお願いしました様に、テーブルマスターの方には、入会間もない会員様が仲間に入れるようご配慮をお願い致します。以上です。

快出席祝 (出席委員会 和氣幸雄副委員長)

近藤隆亮会員 (32年) 藤井昌一会員 (27年) 増淵好次郎会員 (19年) 明賀一博会員 (12年)

片山辰郎会員 (11年) 池田幸会員 (6年) 秋本薫会員 (6年) 和田均会員 (5年) 岸本卓也会員 (3年)

小島克之会員 (3年) 加藤雅敏会員 (2年) 増田仲夫会員 (2年)

環境保全委員会報告 (阿部欣文委員長)

さんま祭りに於いて、何か環境を意識したイベントをしよう！という事で、皆さんにファックスでご案内をさせて頂きました。ご家庭や企業様で眠っているエコバックを皆さんにシェアして頂き、色んな所で使って頂こうというイベントです。市民の方に無料で配布をさせて頂き、レジ袋削減に貢献出来たらと思っております。皆様のご協力を宜しくお願い致します。

ニコニコボックス委員会報告 (荒井規雄副委員長)

誕生祝：岸本卓也会員 神宮厚会員 菅谷隆臣会員 佐山良一会員 南波靖一郎会員 草野英二会員
田嶋久登志会員 関雅樹会員 渡邊弘会員

結婚祝：増田仲夫会員 岸本卓也会員 伊原修会員 菊地正敏員

西村拓浩会員 藤澤智会員 南波靖一郎会員 永井宏樹会員 前田正典会員 増淵好次郎会員
近藤隆亮会員

出席祝：加藤雅敏会員 和田均会員 池田幸会員 増淵好次郎会員 秋本薫会員 近藤隆亮会員
谷田部幸男会員

奥様誕生祝：永井宏樹会員 谷田部幸男会員 三井勝滋会員 新井将能会員 近藤隆亮会員
菊地正敏会員

大矢裕啓幹事：「単身赴任の会」ゴルフコンペで、ハンディキャップ 26.6 と恵まれ優勝させて頂きました。

川嶋健市様：壬生ロータリークラブからメイクアップをさせて頂きました。宜しくお祝い致します。

奈良部好司様：壬生ロータリークラブ。メイクアップをさせて頂きました。宜しくお祝い致します。

矢作千鶴子様：本日、東京世田谷ロータリークラブからメイクアップさせて頂きました。

プログラム紹介（プログラム委員長 伊原修委員長）

本日の例会卓話は「北出が、来たで！」という事で、皆さん懐かしいですね。本日は、元会員でいらっしゃいました北出幸一さんにお越し頂いております。北出様は、石川県のご出身です。現職は、(株)NHK グローバルメディアサービス・スポーツ事業部エグゼクティブプロデューサーです。「NHK G-Media 大相撲中継雑誌」の編集長をされています。元 NHK 宇都宮放送局局長でいらっしゃいました。又、元 NHK 大阪放送局広報部長もされていました。昭和の時代、千代の富士や大乃国を取材された元相撲記者でもいらっしゃいます。是非、卓話を楽しんで頂きたいと思っております。演題は「最近の大相撲事情について」です。宜しくお祝い致します。

卓話「最近の大相撲事業」

(株)NHK グローバルメディアサービス・スポーツ事業部エグゼクティブプロデューサー
「NHK G-Media 大相撲中継」編集長 北出幸一様

皆様、ご無沙汰を致しております。「北出が、又・又・又来たで！」ぐらいで。私が今迄、宇都宮ロータリークラブで何度卓話をしたかを、調べてみました。局長時代に 3 回、栃木発地域ドラマ「ライド・ライド・ライド」直前に、エキストラで参加して頂いた方もいらっしゃるかと思います。その後 3 回、合わせて 6 回卓話をしております。プログラム委員長は卓話の手配をするのが仕事ですが、時々自分でしゃべって公私混同をしておりました。今日は朝早く、練馬から池袋まで西武線で来ました。西武線は何時も混んでいます。そして、乗車しましたら、そこは正に“いくら・トロ・鉄火”と「すし詰め状態」でした。2 年前に来た時、電車に乗りましたら“鳥だらけ”それは「コンドル」だったと話しました。



「NHK G-Media 大相撲中継」という雑誌があります。毎日新聞出版という会社が発行しております。大相撲の事情次第で、雑誌が売れるかどうか？です。御嶽海が秋場所で優勝をしました。昨年名古屋場所以来 2 回目の優勝という事で、非常に盛り上がりました。彼の母はフィリピンの人で、マルガリータさんです。彼は、非常にお母さん思いの力士で、子供の頃から親孝行でした。お母さんは、長野県上松町でお店を営まれています。お父さんは、大道春男さんといいます。お母さんが目立ちすぎてお父さんの存在感が余り有りませんが、子供の頃はお父さんの方が厳しかったと言われております。優勝インタビューで NHK のアナウンサーが「次の場所に向けて？」と尋ねますと、「11 月場所で決めたいと思っております」と大関とりを宣言しました。名古屋場所で 9 勝、秋場所で優勝して 12 勝、九州場所で同じように勝っていけば、大関の基準 33 勝になります。彼は勝って調子を上げると、どんどん勝ち進みます。あえて皆の前で宣言したことは、かなりの覚悟があったと言うことです。御嶽海優勝の際には、貴景勝との決定戦が有りました。非常に激しい相撲でした。貴景勝は大関から落ち復帰を目指し 10 勝をあげていましたが、なすすべもなく寄り切られました。この時、貴景勝は左胸に怪我をしていました。千秋楽の翌日、私が貴景勝に話を聞く予定をしておりまして、支度部屋で待っていました。戻って来た彼は、鼻血を出しており左胸が非常に

痛いと言っていました。大胸筋の肉離れ、6週間の治療が必要だと診断されました。スポーツ新聞掲載の写真を見ますと、稽古を再開した時左胸は真っ赤で内出血状態、秋巡業に途中から出ると彼は言っています。彼は、左利きです。左の胸の筋肉が使えないと、左の押付け・付け出しが出せない、いっそう休んで手術をした方が良いのではないかと云う思いがしました。何故そう思ったかと？と言いますと、2年前の春場所、13日目新横綱全勝でいた稀勢の里が日馬富士のひどい当たりを受けて土俵下に転がり落ちました。同じ様に大胸筋を痛めました。取組み直後は、左の肘が脱臼したのではないかという状況でしたが、胸を押さえていました。この日、私は春場所13日目親方対談の司会をする予定でした。鋳山親方、阿武松親方と3人で対談をやる予定でした。稀勢の里は14日目から休場するだろうと、13日目に親方対談をするという事は、優勝力士をふまえたインタビューをそこで収録する予定で誰も稀勢の里は出ると思っていないので、当然のことながら稀勢の里優勝想定での話を開いていませんでした。ですが、14日目稀勢の里は出て来ました。改めてインタビューを取り直しました。14日目は力なく、鶴竜に負けました。千秋楽は、照ノ富士に勝ちました。右手で突き落としました。左手は使えません。そして、優勝決定戦に持ち込みました。今迄見せたことの無い逆転の右の小手投げでした。日本中が感動しました。賜杯を持つ胸に痛みがはっていました。こんな大怪我だと思わなかったはずです。それから、稀勢の里の試練が始まりました。横綱最長の8場所連続の休場、今年の春場所3日目に3連敗をして引退をしました。9月22日、稀勢の里の断髪式・荒磯襲名・引退相撲が行われました。すっかり表情が穏やかになっております。彼はとても細やかな神経で、周りの方に気を使い、ファンの方の事を考えています。断髪式の際は、女性スタッフと写真撮影をしました。この時、スタッフの1人が遅れて来ましたが、ずっと待っていたそうです。優しい男です。幕下時代は、よくしゃべる男でした。先代師匠が亡くなった元横綱隆の里の鳴戸親方は、「師匠の教えは、ぺらぺら喋るものでは無い。喋ると口から気が抜けるから駄目だ」といっておりました。同じ弟弟子の高安は、負けた時は、殆どしゃべらなかつたです。親方になってNHKの解説者の時には、実によくしゃべり理論家で明るい人です。横綱の重圧と戦いながらの断髪式、最後の土俵入りの写真では、弟分の高安が兄弟子の為に太刀持ちを務めました。断髪式には300名の方が参加されました。細川たかしさん、中畑清さん、日馬富士もハサミを入れました。この時、荒磯親方は目に涙を浮かべていました。永遠のライバル白鵬がハサミを入れました。白鵬の連勝63連勝を止めた稀勢の里は、当時前頭二枚目、九州場所2日目、実況はNHK吉田アナウンサーでした。稀勢の里は、非常に涙もろい男です。最後に、田子の浦親方です。少し話が、さかのぼります。稀勢の里が大関を目指した九州場所で、場所直前に先代師匠の鳴戸親方が急死しました。その様な中で大関昇進を決め、その伝達式に先代師匠の遺影を持って臨みました。鳴戸親方が亡くなり、この先どうなるか？と思いましたが見事に大関に昇進しました。断髪式後のパーティーでは、初めてのタキシード姿で笑顔を見せました。とても似合っていました。大きなホテルでのパーティーで、稀勢の里の横には協会の理事長・田子の浦親方・西岩親方・後援会の関係者がおりました。西岩親方には1から10まで教わった兄弟子でした。これからは共に親方として、弟子の育成にあたることとなります。横綱経験者は1年を過ぎますと、部屋を持ち師匠になる資格が出来ます。おそらく荒磯部屋を自ら開いて、新弟子を育てていくのではないかと思います。稽古は荒磯だけに、相当「あ・ら・い・ぞ」……。秋場所に戻ります。白鵬が9月3日、日本に帰化しました。日本名は、白鵬翔です。炎鵬は太刀持ち、石浦が露払い、二人とも白鵬の内弟子・弟弟子です。二人にとって土俵入りは夢でした。秋場所初日、白鵬は北勝富士に負け翌日から指の骨折で休場することになり、一日限りの土俵でした。この場所は、炎鵬が大活躍しました。14日目に栃煌山を押し倒し勝越し、千秋楽には佐田の浦を破り9勝目をあげました。十両・幕内を通して最軽量98キロの小柄な力士が勝ち、今大型化が進み押し出し・寄り切り等の技の中で横綱以上の人気が出ております。炎鵬は石川県金沢市の出身で、金沢学院大学卒業で入門しています。私も同じ石川県出身ですので、頑張ってもらいたいと思います。9月30日、白鵬が明治神宮で奉納の土俵入りを披露しました。当然、炎鵬と石浦が、太刀持ち・露払いでした。化粧まわしを新調しまし

た。日本の国旗とモンゴルの国旗がついています。この後行われました力士選手権で優勝しました。九州場所に向け、秋の巡業が始まっています。白鵬は本気モードで、九州場所の優勝を目指しております。鶴竜の井筒親方が、すい臓がんで58歳の若さで亡くなりました。井筒三兄弟で、亡くなった井筒親方は次男で関脇逆鉾、長男は鶴嶺山、三男が寺尾です。今年2月の日本相撲協会の副理事選挙に井筒親方と鋳山親方(寺尾)が二人立候補し、兄弟骨肉の争いになりました。2年前、ここで栃木県出身の千賀ノ浦親方の話をしました。現在の貴ノ富士と貴源治の親方です。貴ノ富士が付け人を二回も殴る暴力をおこし、文部科学省で記者会見をしました。この記者会見は、相撲協会では普通ありえない事をしています。相撲協会において師匠の存在は、絶対です。弁護士を通してだけ相撲協会と交渉をしようと言っています。かつての相撲界では、考えられません。11日に書面をもって、貴ノ富士の意向が弁護士を通じて解答されることになっています。小山市出身の双子の関取は、この後解消されるのではないかと思います。三賞受賞が集まりました。御嶽海・朝乃山・壱岐の海・剣翔です。隠岐の海は最後に脱落して、島根県出身の力士初優勝が無くなりました。朝乃山は10勝しました。朝青龍の甥で豊昇龍は結構粘り強く、3連敗をしてから勝越しを何回もしています。琴勝峰は埼玉栄高校出身で、貴景勝とチームメートです。新十両として活躍しております。御嶽海は二桁勝ちますと言って優勝しました。頭脳相撲で15日間戦う為に途中でいかに楽をするか?を考えるのが御嶽海、15日間戦う為に全力で戦うにはどうしたら良いか努力するのが貴景勝です。これからの大相撲を背負っていく二人に注目して下さい。白鵬・鶴竜が優勝をしても雑誌は売れません。日本人の力士に頑張ってもらえないと、雑誌が売れず編集料が入りません。是非、皆様ご協力をお願い致します。以上です。

【今日の食事】



カレーライス
サラダ 福神漬け

【10月卓話】

- 10月 8日(火)「最近の大相撲事情」
北出幸一様 NHK-GMS
- 10月15日(火)第1回クラブフォーラム
- 10月22日(火)休会
- 10月29日(火)米山記念奨学生 活動報告
クマリ様 米山記念奨学生

【11月卓話】

- 11月 5日(火)未定
パトムワンロータリークラブより来訪
- 11月12日(火)休会
- 11月19日(火)未定
神長善次様 元オマーン・ネパール大使
- 11月26日(火)会員卓話
谷田部幸男会員 (株)関電工 栃木支店 支店長

会報担当：東 順治 会員

画像担当：菊池 芳幸 会員